

平成8年度 社会 保 障 費

国立社会保障・人口問題研究所 総合企画部

この社会保障費は、ILO基準に従い、国内の社会保障各制度の給付費とその財源について、平成8年度の決算をもとに推計し、平成10年12月に公表したものである。

第1部 平成8年度社会保障給付費

I 社会保障給付費の範囲

1. 社会保障給付費の範囲は、ILO（国際労働機関）が国際比較上定めた社会保障の基準に基づいて決定されている。

ILOでは、社会保障の基準を次のように定めている。すなわち、以下の3基準を満たすすべての制度を社会保障制度と定義する。

- ① 制度の目的が、治療的又は予防的医療を提供するもの、所得保障を行うもの、あるいは扶養家族に対して補足的給付を提供するものであること。
- ② 制度が法律によって定められ、それによって特定の個人に権利が付与され、あるいは公的、準公的、若しくは独立の機関によって責任が課せられるものであること。
- ③ 制度が公的、準公的、若しくは独立の機関によって管理されていること。

ただし、業務災害補償は、その責任が直接事業主に課せられているので、上記③を満たさないが、社会保障に含める。

上記の基準に従えば、社会保障制度として、

社会保険制度（雇用保険や労働者災害補償保険を含む）、家族手当制度、公務員に対する特別制度、公衆衛生サービス、公的扶助、社会福祉制度、戦争犠牲者に対する給付などが含まれる。

社会保障給付費は、上記のILO基準に従い、国内の社会保障各制度の給付費について、毎年度の決算をもとに推計したものである。（統計表：表1-7「ILO基準による平成8年度社会保障費用」参照）

ILOは1949年以来18回の社会保障費用調査を実施し、各国から提供された社会保障データ（1993年度分まで）を、“The Cost of Social Security”として公開している。現在、基準の一部及び集計様式等を見直した第19次調査（1994～1996年度分）が実施されているところである。

2. 社会保障給付費の「医療」「年金」「福祉その他」別分類は次のとおりである。

「医療」には、医療保険、老人保健の医療給付、生活保護の医療扶助、労災保険の医療給付、結核、精神その他の公費負担医療、保健所等が行う公衆衛生サービスに係る費用等が含まれる。

「年金」には、厚生年金、国民年金等の公的年金、恩給及び労災保険の年金給付等が含まれる。

「福祉その他」には、生活保護の医療扶助以

外の各種扶助，児童手当等の各種手当，施設措置費等社会福祉サービスに係る費用，医療保険の傷病手当金，労災保険の休業補償給付，雇用保険の失業給付等が含まれる。

II 平成8年度社会保障給付費推計 結果の概要

1. 平成8年度の社会保障給付費の総額は67兆5,423億円である。

(1) 部門別社会保障給付費をみると、「医療」が25兆1,789億円(37.3%)，「年金」が34兆9,548億円(51.8%)，「福祉その他」

が7兆4,087億円(11.0%)である。

(2) 平成8年度社会保障給付費の対前年度伸び率は4.4%であり，対国民所得比は17.21%である。

(3) 国民1人当たり社会保障給付費は53万6,600円であり，1世帯当たりでは152万8,300円となっている。

2. 年金保険給付費，老人保健(医療分)給付費，老人福祉サービス給付費，及び高齢雇用継続給付費を合わせた高齢者関係給付費は，平成8年度には43兆785億円となり，社会保障給付費に対する割合は63.8%である。

表1 部門別社会保障給付費

社会保障給付費	平成7年度	平成8年度	対前年度比	
			増加額	伸び率
	億円	億円	億円	%
計	647,263 (100.0)	675,423 (100.0)	28,161	4.4
医療	240,593 (37.2)	251,789 (37.3)	11,195	4.7
年金	334,986 (51.8)	349,548 (51.8)	14,562	4.3
福祉その他	71,683 (11.1)	74,087 (11.0)	2,404	3.4

(注) ()内は構成割合である。

表2 部門別社会保障給付費の対国民所得比

社会保障給付費	平成7年度	平成8年度	対前年度増加分
	%	%	%ポイント
計	17.02	17.21	0.182
医療	6.33	6.41	0.086
年金	8.81	8.90	0.094
福祉その他	1.89	1.89	0.002

表3 1人(1世帯)当たり社会保障給付費

社会保障給付費	平成7年度	平成8年度	対前年度比	
			増加額	伸び率
	千円	千円	千円	%
1人当たり	515.5	536.6	21.2	4.1
1世帯当たり	1,502.4	1,528.3	25.8	1.7

(注) 1世帯当たり社会保障給付費=(世帯人員総数/世帯総数)×1人当たり社会保障給付費によって算出した。

表4 高齢者関係給付費の前年度との比較

	平成7年度	平成8年度	対前年度伸び率
社会保障給付費	647,263 (100.0)	675,423 (100.0)	4.4
年金保険給付費	311,565	326,713	4.9
老人保険(医療分)給付費	84,525	92,166	9.0
老人福祉サービス給付費	10,902	11,537	5.8
高齢雇用継続給付費	117	369	214.8
計	407,109 (62.9)	430,785 (63.8)	5.8
	万人	万人	%
60歳以上人口	2,610	2,663	2.0
65歳以上人口	1,826	1,902	4.2
70歳以上人口	1,187	1,246	5.0
75歳以上人口	717	747	4.2

(注)

- ()内は社会保障給付費に占める割合である。
- 老人福祉サービス給付費は，施設福祉サービス関係給付費及び在宅福祉サービス関係給付費からなる。
- 高齢雇用継続給付費は，60歳から65歳までの継続雇用，再就職の促進を図る観点から，60歳時点に比して賃金額が相当程度低下した状態で雇用を継続する高齢者に対し，60歳以後の賃金額の25%相当額を65歳に達するまでの間支給するものである。本給付費は平成7年度より新規計上された。

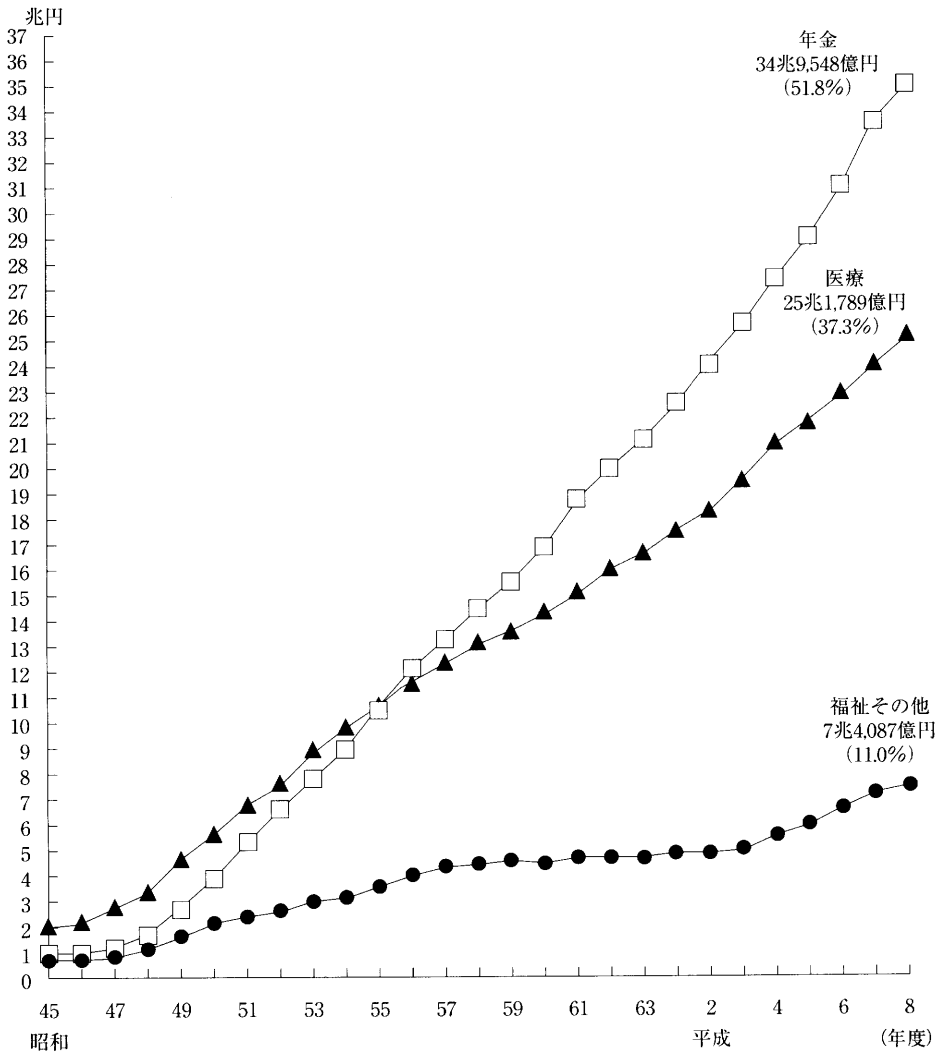


図1 社会保障給付費の部門別推移

Ⅲ 統計表

表 1-1 社会保障給付費の部門別推移

年度	社会保障給付費							国民所得 (億円)
	計 (億円)	医療 (億円)	構成割合 (%)	年金・福祉その他 (億円)		構成割合 (%)		
昭和 25 (1950)	1,261	646	51.2	615		48.8		—
26 (1951)	1,571	804	51.1	768		48.9		44,346
27 (1952)	2,194	1,149	52.3	1,046		47.7		52,159
28 (1953)	2,577	1,480	57.5	1,096		42.5		60,015
29 (1954)	3,841	1,712	44.6	2,129		55.4		65,917
30 (1955)	3,893	1,919	49.3	1,974		50.7		69,733
31 (1956)	3,986	2,018	50.6	1,969		49.4		78,962
32 (1957)	4,357	2,224	51.0	2,133		49.0		88,681
33 (1958)	5,080	2,099	41.3	2,981		58.7		93,829
34 (1959)	5,778	2,523	43.7	3,255		56.3		110,421
35 (1960)	6,553	2,942	44.9	3,611		55.1		134,967
36 (1961)	7,900	3,850	48.7	4,050		51.3		160,819
37 (1962)	9,219	4,699	51.0	4,520		49.0		178,933
38 (1963)	11,214	5,885	52.5	5,329		47.5		210,993
				年金 (億円)	構成割合 (%)	福祉その他 (億円)	構成割合 (%)	
39 (1964)	13,475	7,328	54.4	3,056	22.7	3,091	22.9	240,514
40 (1965)	16,037	9,137	57.0	3,508	21.9	3,392	21.2	268,270
41 (1966)	18,670	10,766	57.7	4,199	22.5	3,705	19.8	316,448
42 (1967)	21,644	12,583	58.1	4,947	22.9	4,114	19.0	375,477
43 (1968)	25,096	14,679	58.5	5,835	23.3	4,582	18.3	437,209
44 (1969)	28,752	16,975	59.0	6,928	24.1	4,849	16.9	521,178
45 (1970)	35,239	20,758	58.9	8,548	24.3	5,933	16.8	610,297
46 (1971)	40,258	22,505	55.9	10,191	25.3	7,561	18.8	659,105
47 (1972)	49,845	28,111	56.4	12,367	24.8	9,367	18.8	779,369
48 (1973)	62,587	34,270	54.8	16,758	26.8	11,559	18.5	958,396
49 (1974)	90,270	47,208	52.3	26,781	29.7	16,280	18.0	1,124,716
50 (1975)	117,693	57,132	48.5	38,831	33.0	21,730	18.5	1,239,907
51 (1976)	145,165	68,098	46.9	53,414	36.8	23,652	16.3	1,403,972
52 (1977)	168,868	76,256	45.2	65,880	39.0	26,732	15.8	1,557,032
53 (1978)	197,763	89,167	45.1	78,377	39.6	30,219	15.3	1,717,785
54 (1979)	219,832	97,743	44.5	89,817	40.9	32,272	14.7	1,822,066
55 (1980)	247,736	107,329	43.3	104,525	42.2	35,882	14.5	1,995,902
56 (1981)	275,638	115,221	41.8	120,420	43.7	39,997	14.5	2,097,489
57 (1982)	300,973	124,118	41.2	133,405	44.3	43,451	14.4	2,193,918
58 (1983)	319,733	130,983	41.0	144,108	45.1	44,642	14.0	2,308,057
59 (1984)	336,396	135,654	40.3	154,527	45.9	46,216	13.7	2,436,089
60 (1985)	356,798	142,830	40.0	168,923	47.3	45,044	12.6	2,602,784

表 1-1 つづき

年度	社会保障給付費							国民所得 (億円)
	計 (億円)	医療 (億円)	構成割合 (%)	年金 (億円)	構成割合 (%)	福祉その他 (億円)	構成割合 (%)	
61 (1986)	385,918	154,489	39.3	187,620	48.6	46,809	12.1	2,711,297
62 (1987)	407,337	160,000	39.3	199,874	49.1	47,462	11.7	2,838,955
63 (1988)	424,582	166,726	39.3	210,459	49.6	47,397	11.2	3,013,800
平成元 (1989)	448,822	175,279	39.1	225,407	50.2	48,135	10.7	3,221,436
2 (1990)	472,203	183,795	38.9	240,420	50.9	47,989	10.2	3,457,391
3 (1991)	501,346	195,056	38.9	256,145	51.1	50,145	10.0	3,630,542
4 (1992)	538,280	209,395	38.9	274,013	50.9	54,872	10.2	3,690,881
5 (1993)	567,975	218,059	38.4	290,376	51.1	59,539	10.5	3,724,645
6 (1994)	604,656	228,726	37.8	310,084	51.3	65,846	10.9	3,737,722
7 (1995)	647,263	240,593	37.2	334,986	51.8	71,683	11.1	3,802,145
8 (1996)	675,423	251,789	37.3	349,548	51.8	74,087	11.0	3,925,597

(注) 四捨五入の関係で総数が一致しない場合がある。

(資料) 国民所得は、昭和29年度以前は、経済企画庁「昭和53年版国民所得統計年報」、昭和30-44年度は、同「長期週及推計国民経済計算報告」、昭和45年度以降は、同「平成10年度版国民経済計算年報」による。

表 1-2 社会保障給付費(対国民所得比)の部門別
推移 (単位:%)

年度	社会保障給付費			
	計	医療	年金	福祉その他
昭和 26 (1951)	3.54	1.81	1.73	
27 (1952)	4.21	2.20	2.01	
28 (1953)	4.29	2.47	1.83	
29 (1954)	5.83	2.60	3.23	
30 (1955)	5.58	2.75	2.83	
31 (1956)	5.05	2.56	2.49	
32 (1957)	4.91	2.51	2.41	
33 (1958)	5.41	2.24	3.18	
34 (1959)	5.23	2.28	2.95	
35 (1960)	4.86	2.18	2.68	
36 (1961)	4.91	2.39	2.52	
37 (1962)	5.15	2.63	2.53	
38 (1963)	5.31	2.79	2.53	
39 (1964)	5.60	3.05	1.27	1.29
40 (1965)	5.98	3.41	1.31	1.26
41 (1966)	5.90	3.40	1.33	1.17
42 (1967)	5.76	3.35	1.32	1.10
43 (1968)	5.74	3.36	1.33	1.05
44 (1969)	5.52	3.26	1.33	0.93
45 (1970)	5.77	3.40	1.40	0.97
46 (1971)	6.11	3.41	1.55	1.15
47 (1972)	6.40	3.61	1.59	1.20
48 (1973)	6.53	3.58	1.75	1.21
49 (1974)	8.03	4.20	2.38	1.45
50 (1975)	9.49	4.61	3.13	1.75
51 (1976)	10.34	4.85	3.80	1.68
52 (1977)	10.85	4.90	4.23	1.72
53 (1978)	11.51	5.19	4.56	1.76
54 (1979)	12.06	5.36	4.93	1.77
55 (1980)	12.41	5.38	5.24	1.80
56 (1981)	13.14	5.49	5.74	1.91
57 (1982)	13.72	5.66	6.08	1.98
58 (1983)	13.85	5.68	6.24	1.93
59 (1984)	13.81	5.57	6.34	1.90
60 (1985)	13.71	5.49	6.49	1.73
61 (1986)	14.23	5.59	6.92	1.73
62 (1987)	14.35	5.64	7.04	1.67
63 (1988)	14.09	5.53	6.98	1.57
平成元 (1989)	13.93	5.44	7.00	1.49
2 (1990)	13.66	5.32	6.95	1.39
3 (1991)	13.81	5.37	7.06	1.38
4 (1992)	14.58	5.67	7.42	1.49
5 (1993)	15.25	5.85	7.80	1.60
6 (1994)	16.18	6.12	8.30	1.76
7 (1995)	17.02	6.33	8.81	1.89
8 (1996)	17.21	6.41	8.90	1.89

表 1-3 社会保障給付費と国民所得の対前年度伸
び率の推移 (単位:%)

年度	社会保障給付費				国民所得
	計	医療	年金	福祉その他	
昭和 26 (1951)	24.6	24.5	24.9		—
27 (1952)	39.7	42.9	36.2		17.6
28 (1953)	17.5	28.8	4.8		15.1
29 (1954)	49.0	15.7	94.3		9.8
30 (1955)	1.4	12.1	△ 7.3		5.8
31 (1956)	2.4	5.2	△ 0.3		13.2
32 (1957)	9.3	10.2	8.3		12.3
33 (1958)	16.6	△ 5.6	39.8		5.8
34 (1959)	13.7	20.2	9.2		17.7
35 (1960)	13.4	16.6	10.9		22.2
36 (1961)	20.6	30.9	12.2		19.2
37 (1962)	16.7	22.1	11.6		11.3
38 (1963)	21.6	25.2	17.9		17.9
39 (1964)	20.2	24.5	15.3		14.0
40 (1965)	19.0	24.7	14.8	9.7	11.5
41 (1966)	16.4	17.8	19.7	9.2	18.0
42 (1967)	15.9	16.9	17.8	11.0	18.7
43 (1968)	15.9	16.7	18.0	11.4	16.4
44 (1969)	14.6	15.6	18.7	5.8	19.2
45 (1970)	22.6	22.3	23.4	22.4	17.1
46 (1971)	14.2	8.4	19.2	27.4	8.0
47 (1972)	23.8	24.9	21.4	23.9	18.2
48 (1973)	25.6	21.9	35.5	23.4	23.0
49 (1974)	44.2	37.8	59.8	40.8	17.4
50 (1975)	30.4	21.0	45.0	33.5	10.2
51 (1976)	23.3	19.2	37.6	8.8	13.2
52 (1977)	16.3	12.0	23.3	13.0	10.9
53 (1978)	17.1	16.9	19.0	13.0	10.3
54 (1979)	11.2	9.6	14.6	6.8	6.1
55 (1980)	12.7	9.8	16.4	11.2	9.5
56 (1981)	11.3	7.4	15.2	11.5	5.1
57 (1982)	9.2	7.7	10.8	8.6	4.6
58 (1983)	6.2	5.5	8.0	2.7	5.2
59 (1984)	5.2	3.6	7.2	3.5	5.5
60 (1985)	6.1	5.3	9.3	△ 2.5	6.8
61 (1986)	8.2	6.1	11.1	3.9	4.2
62 (1987)	5.6	5.6	6.5	1.4	4.7
63 (1988)	4.2	4.2	5.3	△ 0.1	6.2
平成元 (1989)	5.7	5.1	7.1	1.6	6.9
2 (1990)	5.2	4.9	6.7	△ 0.4	7.3
3 (1991)	6.2	6.1	6.5	4.5	5.0
4 (1992)	7.4	7.4	7.0	9.4	1.7
5 (1993)	5.5	4.1	6.0	8.5	0.9
6 (1994)	6.5	4.9	6.8	10.6	0.4
7 (1995)	7.0	5.2	8.0	8.9	1.7
8 (1996)	4.4	4.7	4.3	3.4	3.2

表 1-4 1人当たり社会保障給付費と1人当たり国民所得の推移

年度	1人当たり社会保障給付費		1人当たり国民所得	
	実額 千円	指数 昭和48年=100	実額 千円	指数 昭和48年=100
昭和 26 (1951)	1.9	3.3	52.5	6.0
27 (1952)	2.6	4.5	60.8	6.9
28 (1953)	3.0	5.2	69.0	7.8
29 (1954)	4.4	7.7	74.7	8.5
30 (1955)	4.4	7.7	78.2	8.9
31 (1956)	4.4	7.7	87.6	10.0
32 (1957)	4.8	8.4	97.6	11.1
33 (1958)	5.5	9.6	102.3	11.6
34 (1959)	6.2	10.8	119.2	13.6
35 (1960)	7.0	12.2	144.5	16.4
36 (1961)	8.4	14.6	170.6	19.4
37 (1962)	9.7	16.9	188.1	21.4
38 (1963)	11.7	20.4	219.5	25.0
39 (1964)	13.7	23.9	247.6	28.2
40 (1965)	16.2	28.2	273.2	31.1
41 (1966)	18.9	32.9	319.6	36.4
42 (1967)	21.6	37.7	375.0	42.7
43 (1968)	24.8	43.2	431.7	49.1
44 (1969)	28.0	48.9	508.7	57.9
45 (1970)	33.7	58.7	588.7	67.0
46 (1971)	37.9	66.1	627.3	71.4
47 (1972)	46.3	80.8	726.0	82.6
48 (1973)	57.4	100.0	879.1	100.0
49 (1974)	81.6	142.3	1,018.1	115.8
50 (1975)	105.1	183.3	1,108.7	126.1
51 (1976)	128.4	223.8	1,242.4	141.3
52 (1977)	147.9	257.3	1,364.7	155.2
53 (1978)	171.7	299.3	1,492.2	169.7
54 (1979)	189.3	329.9	1,569.6	178.5
55 (1980)	211.6	368.9	1,706.1	194.1
56 (1981)	233.8	407.5	1,780.1	202.5
57 (1982)	253.5	441.9	1,848.9	210.3
58 (1983)	267.5	466.3	1,931.9	219.8
59 (1984)	279.6	487.4	2,026.0	230.5
60 (1985)	294.8	513.8	2,151.6	244.7
61 (1986)	317.2	553.0	2,229.7	253.6
62 (1987)	333.2	580.9	2,323.9	264.3
63 (1988)	345.9	603.0	2,456.8	279.5
平成元 (1989)	364.3	635.0	2,616.2	297.6
2 (1990)	382.0	665.9	2,798.4	318.3
3 (1991)	404.2	704.6	2,928.4	333.1
4 (1992)	432.5	754.0	2,967.7	337.6
5 (1993)	455.2	793.6	2,987.2	339.8
6 (1994)	483.6	843.0	2,990.6	340.2
7 (1995)	515.5	898.6	3,033.0	345.0
8 (1996)	536.6	935.5	3,120.9	355.0

表 1-5 高齢者関係給付費の推移

年度	年金保険 給付費	老人保健 (医療分) 給付費	老人福祉 サービス 給付費	高齢者 雇用継続 給付費	計			社会保障給付費	
					対前年度 伸び率	給付費に 占める割合	対前年度 伸び率		
	億円	億円	億円	億円	億円	%	%	億円	%
昭和 48 (1973)	10,756	4,289	596	—	15,641	—	25.0	62,587	—
49 (1974)	19,204	6,652	877	—	26,733	70.9	29.6	90,270	44.2
50 (1975)	28,924	8,666	1,164	—	38,754	45.0	32.9	117,693	30.4
51 (1976)	40,697	10,780	1,489	—	52,966	36.7	36.5	145,165	23.3
52 (1977)	50,942	12,872	1,798	—	65,612	23.9	38.9	168,868	16.3
53 (1978)	61,329	15,948	2,060	—	79,337	20.9	40.1	197,763	17.1
54 (1979)	70,896	18,503	2,306	—	91,705	15.6	41.7	219,832	11.2
55 (1980)	83,675	21,269	2,570	—	107,514	17.2	43.4	247,736	12.7
56 (1981)	97,903	24,280	2,822	—	125,005	16.3	45.4	275,638	11.3
57 (1982)	109,552	27,450	3,129	—	140,131	12.1	46.6	300,973	9.2
58 (1983)	120,122	32,660	3,306	—	156,088	11.4	48.8	319,733	6.2
59 (1984)	130,497	35,534	3,467	—	169,498	8.6	50.4	336,396	5.2
60 (1985)	144,549	40,070	3,668	—	188,287	11.1	52.8	356,798	6.1
61 (1986)	163,140	43,584	4,316	—	211,040	12.1	54.7	385,918	8.2
62 (1987)	175,081	46,638	4,278	—	225,997	7.1	55.5	407,337	5.6
63 (1988)	185,889	49,824	4,569	—	240,282	6.3	56.6	424,582	4.2
平成元 (1989)	201,126	53,730	5,106	—	259,962	8.2	57.9	448,822	5.7
2 (1990)	216,182	57,331	5,749	—	279,262	7.4	59.1	472,203	5.2
3 (1991)	231,909	61,976	6,552	—	300,437	7.6	59.9	501,346	6.2
4 (1992)	249,728	66,685	7,456	—	323,869	7.8	60.2	538,280	7.4
5 (1993)	266,199	71,394	8,171	—	345,764	6.8	60.9	567,975	5.5
6 (1994)	286,248	77,804	9,066	—	373,118	7.9	61.7	604,656	6.5
7 (1995)	311,565	84,525	10,902	117	407,109	9.1	62.9	647,263	7.0
8 (1996)	326,713	92,166	11,537	369	430,785	5.8	63.8	675,423	4.4

表 1-6 制度別社会保障給付費の推移

	昭和62 (1987)	昭和63 (1988)	平成元 (1989)	平成2 (1990)	平成3 (1991)	平成4 (1992)	平成5 (1993)	平成6 (1994)	平成7 (1995)	平成8 (1996)
総計	40,733,705	42,458,224	44,882,193	47,220,330	50,134,609	53,828,001	56,797,461	60,465,577	64,726,258	67,542,319
医療保険	10,227,430	10,625,132	11,057,149	11,554,230	12,208,723	13,178,492	13,620,288	14,122,562	14,630,375	15,033,435
老人保健	4,733,700	5,057,697	5,457,648	5,827,668	6,302,277	6,791,681	7,271,074	7,909,604	8,582,796	9,304,173
年金保険	17,508,090	18,588,869	20,112,556	21,618,196	23,190,944	24,972,832	26,619,876	28,624,789	31,156,538	32,671,304
雇用保険	1,330,696	1,299,429	1,298,348	1,166,993	1,177,206	1,355,230	1,628,296	1,897,070	2,202,249	2,204,300
業務災害補償	894,803	903,453	912,410	927,421	950,954	973,191	993,455	1,000,132	1,021,920	1,032,019
家族手当	161,670	155,440	153,373	147,716	148,658	228,934	198,518	492,821	511,187	520,129
生活保護	1,432,475	1,367,435	1,345,671	1,292,778	1,282,656	1,300,998	1,337,804	1,383,898	1,484,894	1,502,467
社会福祉	1,671,436	1,717,235	1,832,534	1,967,813	2,139,603	2,276,762	2,452,368	2,431,341	2,603,244	2,832,488
公衆衛生	598,276	594,340	613,680	643,619	681,330	706,624	659,052	620,350	606,661	591,010
恩給	1,935,588	1,899,800	1,865,088	1,849,026	1,835,660	1,830,506	1,809,488	1,771,104	1,720,624	1,659,031
戦争犠牲者保護	239,541	249,394	233,736	224,870	216,598	212,751	207,242	211,908	205,771	191,963
総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
医療保険	25.1	25.0	24.6	24.5	24.4	24.5	24.0	23.4	22.6	22.3
老人保健	11.6	11.9	12.2	12.3	12.6	12.6	12.8	13.1	13.3	13.8
年金保険	43.0	43.8	44.8	45.8	46.3	46.4	46.9	47.3	48.1	48.4
雇用保険	3.3	3.1	2.9	2.5	2.3	2.5	2.9	3.1	3.4	3.3
業務災害補償	2.2	2.1	2.0	2.0	1.9	1.8	1.7	1.7	1.6	1.5
家族手当	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.4	0.3	0.8	0.8	0.8
生活保護	3.5	3.2	3.0	2.7	2.6	2.4	2.4	2.3	2.3	2.2
社会福祉	4.1	4.0	4.1	4.2	4.3	4.2	4.3	4.0	4.0	4.2
公衆衛生	1.5	1.4	1.4	1.4	1.4	1.3	1.2	1.0	0.9	0.9
恩給	4.8	4.5	4.2	3.9	3.7	3.4	3.2	2.9	2.7	2.5
戦争犠牲者保護	0.6	0.6	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3

給 付 費
百 万 円

構 成 割 合 %

(注) 1. 老人保健には医療を含む保健事業すべてが計上されている。
2. 家族手当は、児童手当のほか、社会福祉中の児童扶養手当及び特別児童扶養手当を含む。

表 1-7 ILO 基準による平成 8 年度社会保障費用 (単位:百万円)

	拠 出		収 入							結 付			
	被保険者	事業主	社会保障特別税	国庫負担	他の公費負担	資産収入	その他	小 計	他制度からの移転	収入合計	疾病・出産		
											医 療	現 金	医 療
社会保険													
1. 健康保険	2,886,332	2,913,353	—	1,136,592	—	13,978	286,785	7,237,039	1,290	7,238,328	4,348,988	366,137	—
(A) 政府管掌健康保険	2,392,464	3,096,687	—	72,809	—	94,974	518,552	6,175,486	—	6,175,486	3,083,193	251,391	—
(B) 組合管掌健康保険	3,230,790	—	—	3,063,788	889,387	—	438,666	7,652,632	888,923	8,541,555	5,503,963	89,277	—
2. 国民健康保険	385,981	—	—	—	—	—	—	385,981	—	385,981	1,273,010	—	—
退職者医療制度(再掲)	—	—	—	2,016,218	1,001,786	—	—	3,018,004	6,043,582	9,061,585	9,216,554	—	—
3. 老人保健	9,685,301	9,685,301	—	2,567,906	—	5,606,092	22,823	27,567,423	11,808,789	39,376,212	—	—	—
4. 厚生年金保険	925,739	2,443,034	—	651	—	1,197,369	12,657	4,579,449	74,218	4,653,668	—	—	—
5. 厚生年金基金等	1,920,898	—	—	1,772,218	—	399,579	1,413,178	5,505,873	8,782,703	14,288,576	—	—	—
6. 国民年金	206,517	—	—	95,194	—	9,322	736	311,769	—	311,769	—	—	—
7. 農業者年金基金等	27,623	62,513	—	6,413	—	4,632	635	101,815	2,107	103,922	23,149	4,900	13,854
8. 船員保険	160,642	160,642	—	54,522	—	78,101	7,669	461,576	58,921	520,497	—	—	—
9. 農林漁業団体職員共済組合	189,300	184,330	—	32,469	9,053	98,836	1,409	515,398	29,123	544,522	97,591	6,560	—
10. 私立学校教職員共済組合	632,515	1,186,202	—	328,168	—	234,288	342,775	2,723,947	—	2,723,947	—	22,163	—
11. 雇用保険	—	1,535,913	—	1,307	—	251,346	272,928	2,061,493	—	2,061,493	—	—	270,654
12. 労働者災害補償保険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
家族手当	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
13. 児童手当	—	155,307	—	26,194	48,229	—	12,521	242,251	—	242,251	—	—	—
公務員													
14. 国家公務員等共済組合	663,100	1,240,271	—	110,298	—	353,259	43,807	2,410,734	674,753	3,085,488	234,595	15,577	—
(A) 国家公務員共済組合	317,037	908,278	—	73,520	—	179,452	22,048	1,500,334	520,004	2,020,338	123,004	5,581	—
(B) 旧公共企業体職員等共済組合	2,004,876	3,635,734	—	7,973	281,524	1,104,969	6,526	7,041,602	1,929,913	8,971,516	704,617	63,418	—
15. 地方公務員等共済組合	—	1,445	—	20,281	—	56	0	21,782	—	21,782	45	1,713	—
16. 旧合共済組合等	—	11,973	—	—	—	—	—	11,973	—	11,973	—	—	4,379
17. 国家公務員災害補償	0	29,367	—	—	—	3,321	886	33,575	—	33,575	—	—	8,017
18. 地方公務員等災害補償	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
19. 旧公共企業体職員業務災害	955	81,094	—	820	—	—	—	8,262	—	8,262	—	—	58
20. 国家公務員退給	—	125,201	—	—	—	—	—	125,201	—	125,201	—	—	—
21. 地方公務員退給	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
公衆健康サービス	—	—	—	622,642	279,889	—	—	902,531	—	902,531	551,184	112,394	—
22. 公衆衛生	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
公的扶助及び社会福祉	—	—	—	1,170,381	386,933	—	—	1,557,315	—	1,557,315	878,193	132	—
23. 生活保護	—	—	—	1,969,194	1,600,742	—	—	3,569,936	—	3,569,936	114,313	—	—
24. 社会福祉	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
競争権性者	—	—	—	1,653,316	—	—	—	1,653,316	—	1,653,316	2,502	—	—
25. 競争権性者	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
総計	25,244,088	27,464,906	—	16,832,857	4,497,543	9,629,574	3,404,619	87,073,587	30,814,326	117,887,913	24,881,893	939,243	296,963

表 1-7 つづき

支		給 付											出				収 支 差
		業務災害		年金	失業等	家族手当	その他		計	管理費	その他	小 計	他制度への移転	支出合計			
		現金	年金以外の現金				医療以外の取物	現金									
1,437	487,348	229,953	—	—	—	153,559	59,647	—	213,207	5,214	10,489	228,909	—	228,909	13,342		
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
—	3,971	—	1,607,708	—	—	—	—	5,025	1,866,876	4,390	3,474	1,874,740	879,315	2,754,055	331,433		
—	7,133	—	1,286,073	—	—	—	—	1,583	1,423,384	2,493	109	1,425,986	410,326	1,836,313	184,025		
—	6,539	—	3,929,282	—	—	—	—	13,342	4,717,198	25,446	3,227	4,745,871	2,582,402	7,328,273	1,643,242		
—	—	—	10,639	—	—	—	—	—	12,397	360	8,974	21,730	—	21,730	52		
9	5,531	2,053	—	—	—	—	—	—	11,973	—	—	11,973	—	11,973	—		
15	14,705	3,513	—	—	—	—	—	—	26,249	3,204	255	29,707	—	29,707	3,867		
—	8,179	25	82,049	—	—	—	—	—	8,262	820	—	8,262	—	8,262	—		
—	—	—	125,201	—	—	—	—	—	125,201	—	—	125,201	—	125,201	—		
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
—	—	—	1,556	—	—	—	13,495	—	678,629	2,793	221,109	902,531	—	902,531	—		
—	—	—	—	—	—	—	—	624,141	1,502,467	54,848	—	1,557,315	—	1,557,315	—		
—	—	—	—	—	—	—	2,615,124	43,404	3,139,411	11,773	418,751	3,569,936	—	3,569,936	—		
—	—	—	—	—	—	—	1,290	86,165	1,643,744	9,572	—	1,653,316	—	1,653,316	—		
1,460	538,550	229,344	34,416,254	2,145,210	520,129	2,689,556	883,718	67,542,319	1,146,635	2,801,664	71,490,618	102,310,124	30,819,505	15,577,790			

(注)

1. 本表はILO事務局による「社会保障費用調査」の基準に従って算出したものである。
2. 「老人保健」は、医療、特定療養費の支出及び老人保健施設療養費、老人訪問看護療養費の支出に関するものを計上しており、これらを除く保健事業に関するものは「公衆衛生」に計上している。
3. 国民年金は、福祉年金及び基礎年金を含む。
4. 農業者年金基金等は、国民年金基金を含む。
5. 公衆衛生は、結核医療等の公費負担医療を含む。
6. 家族手当は、児童手当のほか、社会福祉中の児童扶養手当及び特別児童扶養手当を含む。
7. 四捨五入の関係で計に一致しない場合がある。0は百万円単位で四捨五入するとゼロであることを示す。
8. 平成7年度より高齢者雇用継続給付と育児休業給付が新設されたため、前者を「11. 雇用保険」の「現金給付」とし、後者を「11. 雇用保険」および各共済組合の「疾病・出産」の「現金」に計上した。

(備考) 社会保障費用の項目説明

1. 収入項目
 - (1) 資産収入：利子、利息、配当金、施設利用料、賃料、財産処分益、償還差益等。
 - (2) 他制度からの移転：政府管掌健康保険が組合管掌健康保険及び国民健康保険から受ける日雇い拠出金、国民健康保険が医療保険各制度から受ける退職者医療分にかかる療養給付費交付金、老人保健が医療保険各制度から受ける医療費拠出金。国民年金が年金保険各制度から受け取る基礎年金拠出金、年金保険各制度が国民年金から受ける基礎年金交付金、年金保険各制度が制度間調整勘定から受ける交付金等。
 - (3) その他の収入：受取延滞金、損害賠償金、手数料、分担金、繰入金、繰越金、雑収入等。
2. 支出項目
 - (1) 管理費：業務取扱費、事務費、総務費、基金運営費、業務委託費、組合会費、旅費等。
 - (2) 他制度への移転：医療保険各制度から日雇特別、退職者医療及び老人保健への拠出金。年金保険各制度の国民年金に対する基礎年金拠出金、国民年金の年金保険各制度に対する基礎年金交付金、年金保険各制度の制度間調整勘定への拠出金等。
 - (3) その他の支出：支払基金事務費、施設整備費、保健施設費、福祉施設費、福祉施設等還付金、負担金等。

第2部 平成8年度社会保障財源

I 社会保障財源の範囲

社会保障財源は、ILO基準では給付費の統計において推計された各制度の収入を8分類して示している。それらは、①拠出(被保険者)、②拠出(事業主)、③社会保障特別税、④国庫負担、⑤他の公費、⑥資産収入、⑦その他、⑧他制度からの移転、である。

わが国の場合、③社会保障特別税の項目にあたるものはないが、諸外国(例：アメリカ・フランス)にはあるので、ILOの表では分類に含まれている。また、⑧他制度からの移転、は収入の二重計算を防ぐために別掲してある。以下、社会保障財源として挙げる数字は、この⑧他制度からの移転、を控除したものである。

④国庫負担には、中央政府が支出する金額、すなわち国庫が負担している金額が計上される。⑤他の公費は、都道府県と市町村が支出する金額の合計である。事業によって自治体の負担割合が決まっている場合と決まっていない場合があるが、その両方の費用を含む。⑥資産収入には、利子・利息・配当金、また一部の制度については、施設利用料・賃貸料・財産処分益・償還差益等がふくまれる。多額の積立金を有する制度(年金・雇用保険等)においては、特にこの資産収入が大きい。⑦その他には、受取延滞金・損害賠償金・手数料・繰入金・繰越金・雑収入等の残余の収入が含まれる。⑧他制度からの移転は、ある特定の給付

に対する負担を複数の保険者で分担している拠出金制度において、他の保険者から受け入れる拠出金又は交付金である。これには、医療保険制度関係では国民健康保険が受け入れる退職者医療に係る各保険者からの拠出金、政府管掌健康保険が受け入れる日雇特別被保険者に係る拠出金、老人保健の財源となっている各医療保険者が拠出する老人保健拠出金がある。また、年金保険制度では、国民年金の基礎年金勘定が受け入れる、基礎年金相当分に係る各年金保険者からの拠出金、厚生年金の制度間調整勘定が受け入れる各被用者年金保険からの拠出金がある。

II 平成8年度社会保障財源推計結果の概要

平成8年度の社会保障財源の総額は、87兆736億円であり、財源別では、被保険者拠出が25兆2,441億円、事業主拠出が27兆4,649億円、国庫負担が16兆8,329億円、他の公費負担が4兆4,975億円、資産収入が9兆6,296億円、その他が3兆4,046億円となっている。

社会保障財源の構成割合をみると割合の大きい順に、事業主拠出が31.5%、被保険者負担が29.0%、国庫負担が19.3%、資産収入が11.1%、他の公費が5.2%、その他が3.9%となっている。過去の動向からみて財源構成に特に大きな変化はみられない。

社会保障に係る公費の負担は約24%と近年安定しているが、長期的にみると主に国庫負担割合の低下により低下傾向にある。(「表2-1 社会保障財源の項目別推移」を参照)

表 2-1 社会保障財源の項目別推移

年度	被保険者拠出		事業主拠出		公費負担		国庫負担		資産収入		割合	その他	合計	国内総生産	GDPデフレター
	割合	金額	割合	金額	割合	金額	割合	金額	割合	金額					
昭和 26	568	28.1	578	28.6	738	36.5	478	23.6	22	1.1	117	5.8	2,023	55,629	
29 (1954)	1,047	23.7	912	20.7	2,238	50.7	1,768	40.0	96	2.2	124	2.8	4,417	78,646	
32 (1957)	1,383	23.7	2,649	45.4	1,415	24.2	1,068	18.3	148	2.5	245	4.2	5,839	110,641	
35 (1960)	2,430	26.2	3,860	41.7	2,288	24.7	1,897	20.5	458	4.9	224	2.4	9,260	166,806	
1961	3,038	26.3	3,514	30.4	4,053	35.1	3,629	31.4	621	5.4	319	2.8	11,545	201,708	
1962	3,633	26.7	4,227	31.0	4,521	33.2	4,019	29.5	502	3.7	448	3.3	13,616	223,288	
1963	4,282	26.2	5,119	31.3	5,439	33.3	4,815	29.4	624	3.8	549	3.4	16,353	262,286	
1964	5,031	26.3	5,921	30.9	6,415	33.5	5,570	29.1	845	4.4	567	3.0	19,137	303,997	
40 (1965)	6,475	27.0	7,293	30.4	7,792	32.5	6,798	28.3	994	4.1	921	3.8	23,996	337,653	
1966	7,750	26.9	8,680	30.1	8,946	31.0	7,801	27.0	1,145	4.0	1,536	5.3	28,850	396,989	
1967	8,814	26.1	10,213	30.2	10,303	30.5	9,023	26.7	1,280	3.8	2,030	6.0	33,820	464,454	
1968	10,580	26.5	11,854	29.7	12,065	30.2	10,607	26.6	1,457	3.6	2,349	5.9	39,933	549,470	
1969	13,205	29.2	13,992	30.9	13,588	30.0	11,964	26.4	1,624	3.6	536	1.2	45,247	650,614	
45 (1970)	15,558	28.5	17,043	31.2	16,420	30.0	14,425	26.4	1,995	3.6	864	1.6	54,681	752,985	
1971	18,638	28.7	20,743	31.9	18,481	28.4	16,285	25.1	2,196	3.4	957	1.5	64,978	828,993	
1972	21,779	28.0	24,242	31.1	23,096	29.7	20,041	25.7	3,055	3.9	1,226	1.6	77,877	964,863	
1973	26,906	27.4	30,131	30.7	30,933	31.5	26,701	27.2	4,232	4.3	1,095	1.1	98,202	1,167,150	
1974	37,219	27.6	41,415	30.7	42,939	31.8	37,238	27.6	5,701	4.2	1,678	1.2	134,988	1,384,511	
50 (1975)	44,238	26.4	50,826	30.4	55,421	33.1	48,519	29.0	6,903	4.1	2,249	1.3	167,375	1,523,616	
1976	52,368	26.1	60,324	30.1	66,306	33.1	58,334	29.1	7,972	4.0	4,094	2.0	200,483	1,712,934	
1977	62,801	26.7	70,687	30.1	77,090	32.8	68,003	28.9	9,086	3.9	3,515	1.5	234,987	1,900,943	
1978	71,177	26.4	79,081	29.3	90,384	33.5	80,040	29.7	10,344	3.8	5,114	1.9	269,571	2,086,022	
1979	78,591	26.4	86,247	28.9	100,626	33.7	89,031	29.9	11,595	3.9	5,502	1.8	298,251	2,252,372	
55 (1980)	88,844	26.5	97,394	29.1	110,409	32.9	97,936	29.2	12,473	3.7	5,929	1.8	335,258	2,455,466	
1981	100,214	26.8	109,937	29.4	119,044	31.8	105,794	28.3	13,250	3.5	6,098	1.6	374,123	2,608,013	
1982	107,434	26.8	117,678	29.4	125,474	31.3	111,839	27.9	13,635	3.4	5,841	1.5	400,793	2,733,224	
1983	112,755	26.9	124,646	29.7	125,644	29.9	111,057	26.5	14,587	3.5	6,654	1.6	419,642	2,855,934	89.6
1984	118,918	26.7	132,208	29.7	131,142	29.4	115,417	25.9	15,725	3.5	7,535	1.7	445,384	3,051,441	92.0

(単位：億円、割合%)

表 2-1 つづき

年度	被保険者拠出		事業主拠出		公費負担		国庫負担		資産収入		割合	割合	割合	合計	国内総生産	GDPデフレーター
	金額	割合	金額	割合	金額	割合	金額	割合	金額	割合						
60 (1985)	131,583	27.1	144,363	29.7	138,059	28.4	117,880	24.3	62,020	12.8	9,748	2.0	485,773	3,242,896	93.9	
1986	136,729	26.7	155,063	30.3	142,984	27.9	119,920	23.4	68,872	13.4	8,793	1.7	512,442	3,393,633	95.3	
1987	143,348	26.9	161,273	30.2	145,322	27.2	121,474	22.8	71,981	13.5	11,713	2.2	533,637	3,555,218	95.3	
1988	151,122	26.4	171,707	30.0	162,899	28.4	137,404	24.0	74,309	13.0	13,025	2.3	573,062	3,796,568	96.0	
平成元	163,037	27.0	188,134	31.2	153,186	25.4	127,420	21.1	77,015	12.8	21,796	3.6	603,167	4,064,768	98.4	
1990	184,985	27.9	210,206	31.7	161,974	24.4	134,559	20.3	83,580	12.6	22,915	3.5	663,661	4,388,158	100.6	
1991	200,343	28.3	224,342	31.7	170,286	24.1	141,106	19.9	89,374	12.6	23,370	3.3	707,714	4,631,744	103.2	
1992	208,474	28.2	234,789	31.8	180,766	24.5	147,363	19.9	90,810	12.3	24,343	3.3	739,182	4,719,257	104.7	
1993	216,892	28.2	242,599	31.6	188,316	24.5	153,403	20.0	95,171	12.4	25,403	3.3	768,380	4,767,461	105.3	
1994	225,468	28.3	249,454	31.4	194,766	24.5	156,934	19.7	93,630	11.8	32,366	4.1	795,684	4,788,414	105.1	
1995	244,146	28.7	268,075	31.5	207,899	24.4	165,680	19.5	98,116	11.5	32,473	3.8	850,709	4,892,489	104.4	
8 (1996)	252,441	29.0	274,649	31.5	213,304	24.5	168,329	19.3	96,296	11.1	34,046	3.9	870,736	5,030,682	104.0	

(注) 1. 社会保障財源は、ILO基準に基づく分類(他制度からの移転を除く部分)に従い、年次別に掲載したものである。但し「社会保障特別税」は我が国では存在しないため表示していない。

2. 公費負担とは「国庫負担」と「他の公費」の合計である。また、「他の公費」とは地方自治体の負担を示す。

表 2-2 社会保障財源と国内総生産の対前年度伸び率

(単位：%)

年度	被保険者拠出	事業主拠出	公費負担	公費負担		資産収入	その他	合計	国内総生産
				国庫負担	その他公費				
昭和 46 (1971)	19.8	21.7	12.6	12.9	10.0	28.4	10.8	18.8	10.1
1972	16.8	16.9	25.0	23.1	39.1	22.4	28.0	19.9	16.4
1973	23.5	24.3	33.9	33.2	38.5	21.3	△ 10.6	26.1	21.0
1974	38.3	37.5	38.8	39.5	34.7	28.5	53.2	37.5	18.6
1975	18.9	22.7	29.1	30.3	21.1	24.7	34.0	24.0	10.0
1976	18.4	18.7	19.6	20.2	15.5	18.8	82.0	19.8	12.4
1977	19.9	17.2	16.3	16.6	14.0	20.1	△ 14.1	17.2	11.0
1978	13.3	11.9	17.2	17.7	13.8	14.0	45.5	14.7	9.7
1979	10.4	9.1	11.3	11.2	12.1	14.6	7.6	10.6	8.0
1980	13.0	12.9	9.7	10.0	7.6	19.8	7.8	12.4	9.0
1981	12.8	12.9	7.8	8.0	6.2	18.8	2.8	11.6	6.2
1982	7.2	7.0	5.4	5.7	2.9	14.3	△ 4.2	7.1	4.8
1983	5.0	5.9	0.1	△ 0.7	7.0	12.6	13.9	4.7	4.5
1984	5.5	6.1	4.4	3.9	7.8	11.3	13.2	6.1	6.8
1985	10.7	9.2	5.3	2.1	28.3	11.6	29.4	9.1	6.3
1986	3.9	7.4	3.6	1.7	14.3	11.0	△ 9.8	5.5	4.6
1987	4.8	4.0	1.6	1.3	3.4	4.5	33.2	4.1	4.8
1988	5.4	6.5	12.1	13.1	6.9	3.2	11.2	7.4	6.8
平成元 (1989)	7.9	9.6	△ 6.0	△ 7.3	1.1	3.6	67.3	5.3	7.1
1990	13.5	11.7	5.7	5.6	6.4	8.5	5.1	10.0	8.0
1991	8.3	6.7	5.1	4.9	6.4	6.9	2.0	6.6	5.6
1992	4.1	4.7	6.2	4.4	14.5	1.6	4.2	4.4	1.9
1993	4.0	3.3	4.2	4.1	4.5	4.8	4.4	4.0	1.0
1994	4.0	2.8	3.4	2.3	8.4	△ 1.6	27.4	3.6	0.4
1995	8.3	7.5	6.7	5.6	11.6	4.8	0.3	6.9	2.2
平成 8 (1996)	3.4	2.5	2.6	1.6	6.5	△ 1.9	4.8	2.4	2.8

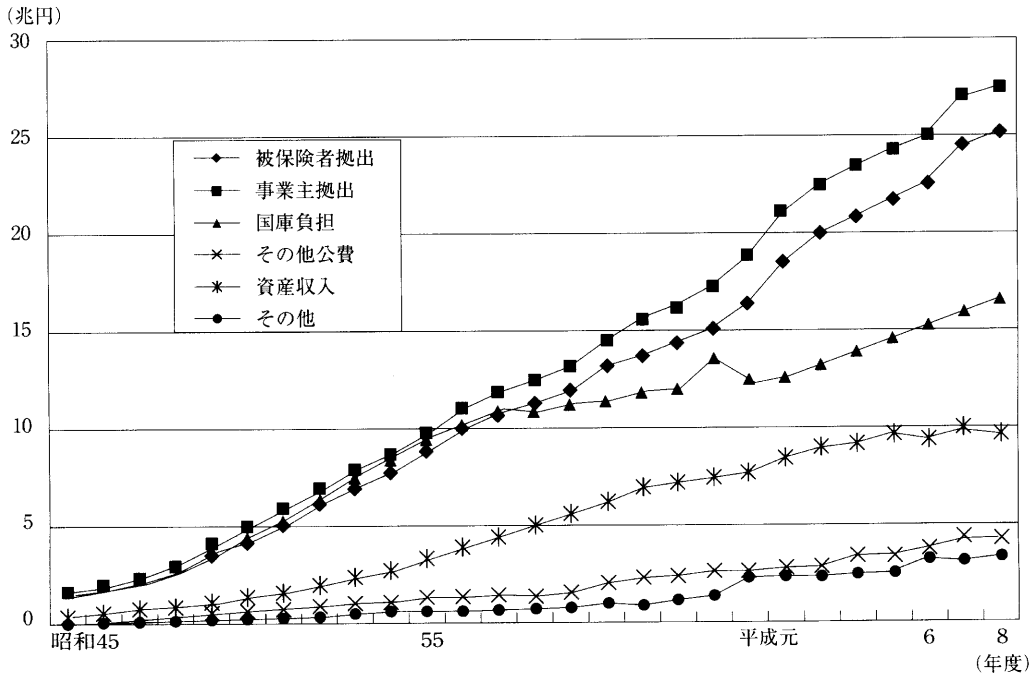


図 2-1 財源別社会保障収入の年次推移

◆参考 国際比較

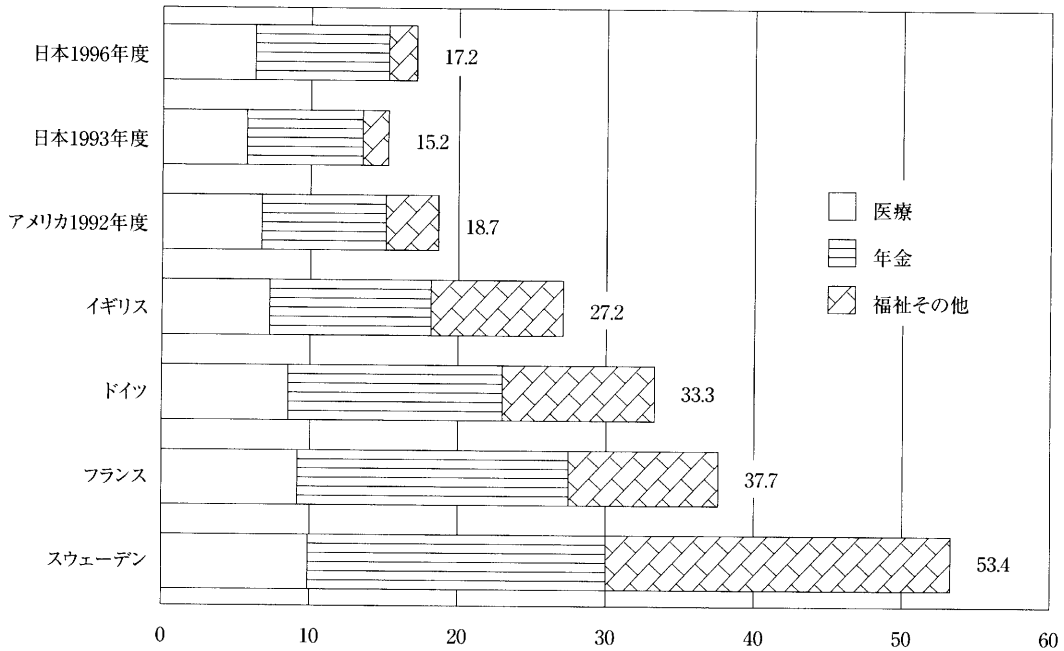
国際比較表 1 社会保障給付費，租税・社会保障負担率等の国際比率

(単位：%)

国 名	社会保障給付費 の対国民所得比 1993 年度	老年人口比率 (65 歳以上 人口比率) 1993 年	租税・社会保障負担の 対国民所得比 (1993 年)		
			租税負担	社会保障負担	計
日 本	15.2	13.6	24.4	12.1	36.5
1996 年度	17.2	15.1	23.0	13.2	36.2
ア メ リ カ	18.7*	12.7	25.2	10.2	35.4
イ ギ リ ス	27.2	15.8	35.8	10.2	46.2
ド イ ツ	33.3	15.1	31.3	24.9	56.2
フ ラ ン ス	37.7	14.5	33.5	29.1	62.6
ス ウ ェ ー デ ン	53.4	17.6	50.5	19.9	70.4

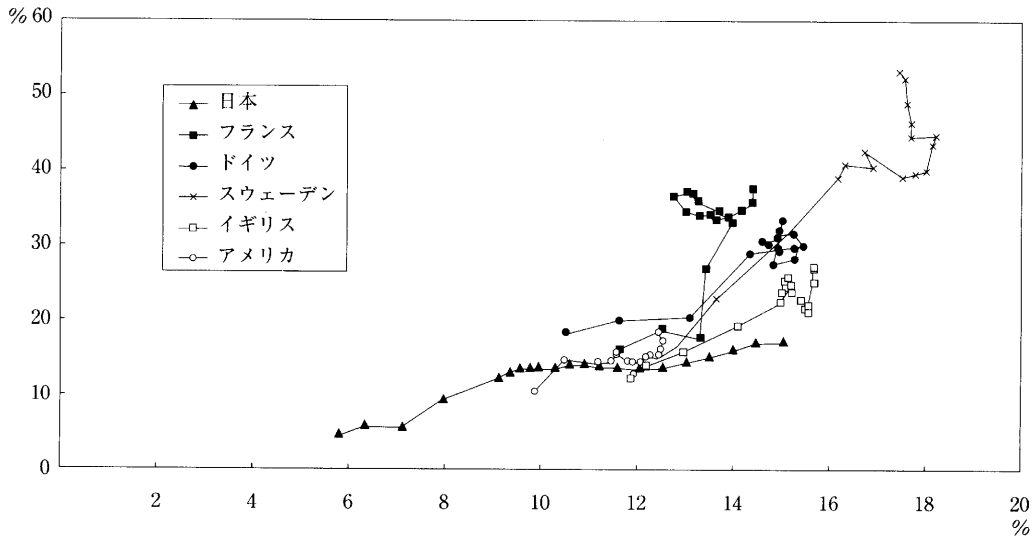
(注) 1. 社会保障給付費は ILO 基準による。
 2. アメリカの社会保障給付費については、データが作成されていないため、参考に 1992 年度の数値を掲げた (*)。
 3. 租税・社会保障負担の対国民所得比は、日本については年度，その他各国は暦年である。

(資料) 諸外国の国民所得は OECD (1998) "National Accounts", 諸外国の老年人口比率は United Nations, "Demographic yearbook" 及び "The Sex and Age Distribution of World Population", 「租税・社会保障負担の対国民所得比」の数値は財政調査会 (1998) 『平成 10 年度予算の話』による。



(注) 数値については、次頁国際比較表2を参照。

国際比較図1 社会保障給付費(対国民所得比)の部門別構成割合の国際比較(1993年度)



(注) 1. ドイツについては、1990年度までは旧西ドイツ、1991年からは統一ドイツの数値である。

2. アメリカについては、1960年度までは旧西ドイツ、1993年度のデータが入手不可能。

国際比較図2 老年(65歳以上)人口比率と社会保障給付費(対国民所得比)の国際比較(1960,1965,1970,1975,1980-1993)

国際比較表2 社会保障給付費の国際比較

	合計 対国民所得比	単位：％			給付費総額 各国通貨単位：百万	1人当たり給付費 各国通貨単位
		医療	年金	福祉その他		
日本 1996年度	17.2	6.4	8.9	1.9	67,542,319	536,629円
1993年度						
日 本	15.2	5.9	7.8	1.6	56,797,461	455,239円
アメリカ(1992年度)	18.7	6.8	8.4	3.5	906,195	3,494ドル
イギリス	27.2	7.3	10.8	9.1	132,646	2,279ポンド
ドイツ	33.3	8.7	14.3	10.3	799,688	9,901マルク
フランス	37.7	9.2	18.4	10.2	1,973,922	34,313フラン
スウェーデン	53.4	10.0	20.1	23.3	557,135	63,708クローネ

(参考) 各国の当該年度の年間平均為替相場で換算すると、アメリカは442,461円、イギリスは378,326円、ドイツは667,246円、フランスは674,140円、スウェーデンは910,585円となる

(備考) 上記諸外国の数はILOの社会保障調査に基づき、各国が推計したものを当研究所が直接入手したものであるためILO公表数値と異なることがある。

国際比較表3 老年(65歳以上)人口比率と社会保障給付費(対国民所得比)の国際比較

(単位：％)

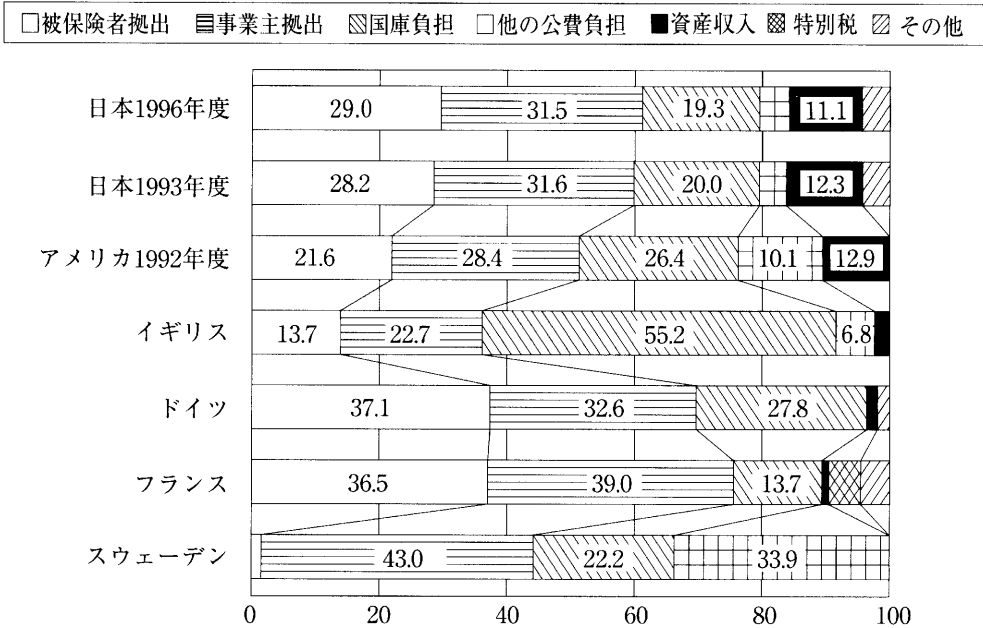
年	日本		フランス		ドイツ		スウェーデン		イギリス		アメリカ	
	老年人口 比率	社会保障 給付費比	老年人口 比率	社会保障 給付費比	老年人口 比率	社会保障 給付費比	老年人口 比率	社会保障 給付費比	老年人口 比率	社会保障 給付費比	老年人口 比率	社会保障 給付費比
1960	5.73	4.9	11.6	16.3	10.6	18.5	12.0	13.2	11.9	12.3	9.2	n.a.
1965	6.29	6.0	12.6	18.9	11.6	20.1	12.9	16.8	12.2	14.1	9.3	n.a.
1970	7.07	5.8	13.4	17.8	13.2	20.5	13.7	23.0	13.0	15.9	9.9	10.7
1975	7.92	9.5	13.5	26.9	14.5	29.0	15.1	30.9	14.2	19.3	10.5	15.0
1980	9.10	12.4	14.1	33.2	15.5	30.0	16.3	39.2	15.1	22.4	11.2	14.4
1981	9.34	13.1	13.8	34.7	15.3	31.4	16.5	40.9	15.3	24.7	11.4	14.6
1982	9.56	13.7	13.3	36.1	15.0	31.9	17.0	40.7	15.2	25.6	11.6	15.5
1983	9.77	13.9	13.2	36.9	15.0	31.0	16.8	42.7	15.1	25.2	11.6	15.9
1984	9.94	13.8	13.1	37.1	14.7	30.5	17.6	39.3	15.0	23.7	11.9	14.7
1985	10.30	13.7	12.8	36.8	14.8	30.1	17.9	39.8	15.3	23.6	12.0	14.6
1986	10.58	14.2	13.1	34.6	15.1	29.3	18.1	40.2	15.3	23.7	12.1	14.6
1987	10.90	14.3	13.3	34.2	15.3	29.7	18.2	43.7	15.5	22.7	12.3	15.6
1988	11.23	14.1	13.6	34.2	15.4	29.7	18.3	44.8	15.6	21.5	12.2	15.3
1989	11.61	13.9	13.7	33.6	15.4	28.4	17.8	44.6	15.6	20.9	12.5	15.2
1990	12.08	13.7	14.0	34.0	15.0	27.5	17.8	46.6	15.7	22.0	12.5	16.0
1991	12.56	13.8	14.2	34.8	15.0	29.7	17.7	49.1	15.8	25.0	12.6	17.4
1992	13.05	14.6	14.5	35.8	15.1	31.4	17.7	52.5	15.8	26.8	12.5	18.7
1993	13.55	15.2	14.5	37.7	15.1	33.3	17.6	53.4	15.8	27.2	12.7	n.a.

(注) 1. 社会保障給付費はILO基準による。

2. 老年人口比率は年値、社会保障給付費の対国民所得比は年度値である。

3. ドイツについては、1990年までは旧西ドイツ、1991年からは統一ドイツの値である。

(資料) 老年人口比率は日本については「国勢調査」(総務庁統計局)、国勢調査年以外は「各年10月1日現在推計人口」(総務庁統計局)、その他の国については、「Demographic Yearbook」(UN, 1970年～1996年版)と“The Sex and Age Distribution of World Population: 1996”(UN)、国民所得はOECD(1997)“National Accounts”による。



	被保険者拠出	事業主拠出	国庫負担	他の公費負担	資産収入	特別税	その他
日本 1996 年度	29.0	31.5	19.3	5.2	11.1	—	3.9
日本 1993 年度	28.2	31.6	20.0	4.5	12.3	—	3.3
アメリカ1992年度	21.6	28.4	26.4	10.1	12.9	0.6	0.0
イギリス	13.7	22.7	55.2	6.8	1.5	—	0.1
ドイツ	37.1	32.6	27.8	0.0	0.9	—	1.7
フランス	36.5	39.0	13.7	0.0	0.9	5.6	4.3
スウェーデン	0.9	43.0	22.2	33.9	0.0	—	—

(注) 端数処理のため、%の値を合計しても100.0%にはならない。

国際比較図3 社会保障財源の構成割合の国際比較(1993年度)

〈平成10年度推計作業における時系列データの改訂について〉

平成9年度3月に研究資料第294号「社会保障費統計資料集—平成9年度遡及版—」を刊行した。今回は昭和57年度に社会保障給付費の整備を始めてから3度目の遡及となる。近年特に社会福祉や公衆衛生で費用区分を詳細にしたのを機に過去のデータについての見直しを行った結果、昭和44年以降の数値に遡及改訂を実施した。平成8年度社会保障費に示した時系列数値はすべて、平成9年度遡及後の数値である。

なお、ここに掲載したデータ及び平成9年度遡

及版社会保障費統計は、国立社会保障・人口問題研究所のホームページ (<http://www.ipss.go.jp>) よりデータとしてダウンロードすることができる。

平成8年度社会保障給付費の推計作業及びとりまとめは、勝又幸子、磯崎修夫が担当した。

(注) 統計表における表章記号は以下のとおり。

計数のない場合	—
比率が微小(0.05未満)の場合	0.0
推計数が表章単位の1/2未満の場合	0
減少数(率)の場合	△